

# 特別講演会「コロナ禍世界初 私が地球を一人で飛んだ理由」

講師：前田伸二

2023年7月13日（木曜）17:00～19:00 工学部8号館地下 83号講義室



## Profile

### 前田 伸二

1979年生まれ 北海道出身  
米国非営利団体「エアロ・ジパング・プロジェクト」代表 アースラウンダー  
中部大学 工学部宇宙航空理工学科 客員准教授  
日本航空機操縦士協会 名誉会員

日本航空高等学校卒業後、日本大学理工学部航空宇宙工学科に入学してわずか2ヶ月後に交通事故で片目の視力を失う。大学卒業後、アリゾナ州のエンブリ・リドル航空大学大学院在学中、片方の目の見えないパイロットとして自家用パイロット免許を取得する。現在はワシントン州の民間航空機メーカーに勤務しながら、Snohomish Flying Serviceで飛行教官を務める。2018年に米国非営利団体「エアロ・ジパング・プロジェクト」を立ち上げ、2019年からは中部大学の客員准教授も務める。コロナ禍で成功をおさめた世界一周ミッションフライトの飛行技術の高さや安全確保の確実性、また航空普及活動だけでなく広く人々を勇気付けたことが評価され、米国ポナンザ協会では最高位のABSエアマンシップ賞を受賞。

著書：単独世界一周フライトを成し遂げた 隻眼のパイロットが語る「夢を実現するための方程式」(IBCパブリッシング)がある。



前田の師匠であるエイドリアン・エイコン氏（左から2番目）

前田が搭乗した単発エンジン飛行機「ポナンザP35型 N9787Y」は、かつての愛犬と同じく「ルーシー」と名付けられました



世界一周フライトに挑戦する前田  
コロナ禍では世界初、隻眼のパイロットとしては史上2人目の世界一周フライトを達成

## 講演内容

片方の目の見えないパイロットとして、一度絶たれた夢を、諦めずに逆風に立ち向かい続けることで目標を実現させた自身の経験談。この講演はコロナ禍で青春を謳歌できなかった日本の学生の涙をなん度も見てきたからこそ、この講演は彼らへの羅針盤になる。

「夢を持ち続ける大切さと、その難しさ」を未来に担う若者と その周りの大人たちへ伝えるため、NPO団体AERO ZYPANGU PROJECTを立ち上げ、精力的に講演活動をしています。2021年、自らの行動で「限らない可能性がこの世界にはある」ということを証明、伝えていくため、単発エンジン機体での世界一周プロジェクト“Earth Rounder:アースラウンダー”をコロナ禍世界初で成功させ、アースラウンダー挑戦に至るまでの背景、なぜこの挑戦が日本人に必要なのかを講演します。



障害があっても夢を実現できた自分の姿を示し、『人生はまだこれからだ』とひとりひとりの心に火をともし続けたい。

担当：航空宇宙工学専攻 教授 中須賀真一